

地域に活きづく国有地(4)ひがしやまホーム(特別養護老人ホーム等)
(国有地は、国の庁舎等から地域に役立つ施設等に姿を変えて、地域貢献しています。)

ひがしやまホーム

【東京都目黒区東山 3-1058-38 3,728.85 m²】



地域に密着した「第2の我が家」



要介護者用の特殊浴槽を完備



《財産の沿革》

この地は、もと国土地理院庁舎敷地でしたが、同院の筑波研究所学園都市移転に伴い、昭和54年に用途廃止され、財務局が跡地の利活用を検討する中、目黒区より公共要望があり、特別養護老人ホーム等敷地として利用(売却)いただくべく諸手続き(国有財産関東地方審議会の了承を得る等)を経て、平成8年3月22日付で契約したものです。

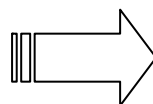
《施設の概要》

- ・平成12年4月1日開設、整備費36億700万円
- ・利用者数・・・140人(特別養護老人ホーム・ショートステイ)、36人(高齢者在宅サービスセンター)、約100人(在宅介護支援センター)
- ・運営主体・・・社会福祉法人 目黒区社会福祉事業団
- ・コンセプト・・・利用者個人の尊厳を守り、利用者が自分らしく生きることを支援しつつ、家族や地域との連携も大切にしながら、地域で最も信頼され、喜ばれる施設を目標に運営を行っています。また、在宅介護支援センター等を併設し、目黒区の高齢福祉の拠点として、地域に貢献できる施設を目指しています。

《地域への貢献・効果(施設運営担当の方への取材より)》

- ・公園、文教施設等に囲まれた静かで緑に恵まれた環境の中、地域の人々や家族の方々など誰でも気軽に訪れることが出来る開かれた施設づくりを心がけています。また、定期的に施設の見学会等を開催しており、地域の高齢福祉全般に対する意識向上にも寄与しています。
- ・近隣の保育園・幼稚園の子供たちとの日常的な交流、小中学校や大学生等の体験学習の受入れ、地域ボランティアや実習生の育成など、地域に根ざした活動を積極的に行っています。また、利用者が地域の行事に積極的に参加したり、当施設の行事に地域の方々を招くなど、利用者と地域の方々が直接触れ合うことで、当施設への理解も深まっています。

当時(平成8年頃)



現在

